



今年100年を迎える県立図書館



山形県立博物館所蔵

威風堂々たるルネッサンス式建物、この写真は100年前の山形県立図書館です。現在の山形市役所の向かい側付近に立地していました。

明治43年5月開館。当時の蔵書は5,150冊で開館当日の入場者は180名。貸出図書は193冊（館内・館外ともで）でした。利用するには年齢が12歳以上、館外貸出を受けるには保証金を積まねばならず、また保証金の額により貸出冊数、貸出期間が異なっていました。

現在（H22.1.31）、所蔵している資料点数は約75万点。誰でも自由に閲覧・貸出を受けることができ、遠方の方は公立図書館（室）経由で館外貸出を受けることができます。平成19年10月からはインターネット予約貸出も開始しております。皆さん県立図書館をご利用ください。

今年100年を迎える県立図書館	1
平成22年度企画展示・NHK出演	2～3
北日本図書館大会開催	4～5
子どもの読書活動推進「絵本の本棚」	5
中学生が図書館の仕事体験	6
地域文庫紹介「おひさま文庫」	7
お知らせ・図書館案内	8

平成22年度企画展示

今年度の企画展示は、春の子どもの読書週間に合わせて「心を育む家族の絵本」〔平成22年4月20日（火）～5月15日（土）〕からスタートです。

秋の読書週間企画展は「2009～2010県内出版物展」そして、特別展として「山形県立図書館100周年記念展」〔平成22年10月19日（火）～11月13日（土）〕を実施します。

一般展示の基本テーマは、平成22年の「国民読書年」のキャッチフレーズに合わせて「じゃあ、読もう。」に決めました。所蔵の資料の中から皆様に読んでいただきたい本を選び展示します。「本」から得られる知識から実践の術まで、幅広いジャンルで御紹介します。

「本ってなに？」

1冊の本が出来上がるまで、本と人と関わる仕事とその内容。

そしてできた「本」の中から、近年の山形出身作家も御紹介します。

「本を読んで楽しもう」

「本」を読むことで得られる知識・知恵とは。

身近な話題の料理・芸術・趣味関連・闘病記などを「じゃあ、読もう。」

「本を読んだらどこへ行く？」

環境・農業・観光。外へ広がる世界を紹介展示します。

さあ、得られた知識を実践してみましょう。

「タイムスリップしてみたらー本で江戸時代へー」

本の中で時間旅行を。あなたの知らない江戸時代を読んでみませんか。

知らない世界が身近なものとなり、本の中での時間旅行まで、あなたが見る夢はどこまで叶う？
また、時季に合わせた「敬老の日 読書のすすめ」「若い人に贈る本」「2010年文学賞等受賞作品」等もお楽しみに。

児童展示は「家族」がテーマです。春の「心を育む家族の絵本」から始まる1年で、家族の絆を深めるきっかけとなり、読書の土台が堅固なものになるよう工夫した展示をお楽しみください。

「おとうさん、おかあさん」

「おじいちゃん、おばあちゃん」

「赤ちゃん、誕生日」など、どこから読んでも楽しめる本がそろいます。

また、「ヤングアダルトおすすめ本」として、通年展示もします。

同年代の若者が仲間にオススメしたい本から、人生の経験者が若い人に読んでほしい本まで、どんな本がそろうのか、楽しみです。

平成21年度の展示は「知るを愉しむ」がテーマでした。「書を読めば万倍の利あり。書は君子の智を添う」（出典：金言童子教）といわれます。図書館の蔵書を通じ、大人の学問・大人の学びを知ってほしいと考えた年間展示のテーマ。さあ、図書館から始まる知的探検ワールドへの出発です。どんな広報をしようかと頭をひねっていたときに、折りよくNHK山形放送局制作の新番組「やまモリ！」が4月から始まり、その中で「びっくあっぷブック～今回のおすすめ本～」のコーナーに5分の出演枠をもらえることとなりました。

さあ、何からどう始めますか・・・

「えっ！その本なら知ってる！！」「なんだか読んでみたい。」「へえー、こんな本もあるのか。」とあっていただける本をオススメしたい。だけどなあ、心配と不安とが、ない交ぜになった第1回目。選んだ本は、「こどもの読書週間」に合わせて、「としょかんライオン」にしました。絵本ですが、海外秀作絵本に選ばれた1冊です。番組はキャスターとの掛け合いをしながらの紹介の時間なので、うまく話を振ってもらえないと、ぶっつけ本番だから会話も途切れてしまいます。

小さい子供が、図書館はこんなところだと分かってくれるように。「図書館には決まりがあります。」「静かに本を読んでね。」と教えながら、「どうしてライオンが図書館に来るの？」などと考えずに、こんな不思議なことがおきるのが図書館だと知ってほしいから、「君



も本の中の友達に会いに来てね。」の気持ちでお伝えしました。この1冊目が貸し出しになった時のうれしかったことといったら、何と云えばいいのでしょうか。

その後、裁判員制度、また2009年世界天文年、と時節に合わせた1冊と、図書館のテーマ別展示に絡んだ広報を心がけました。

9門の文学からおすすめの本を紹介するのはたやすいのですが、図書館にはたくさんの部門があります。それぞれに面白そうな、知的好奇心を満たす本があると知っていただきたくて、欲張りすぎるほど、色々な本を選びました。コンセプトは一つ。「自分が読んで楽しかったから、あなたにも読んでほしい。知ってほしい。」この気持ち、うまく見ていただいた方に伝わりましたでしょうか。

私が最後にいつも使った言葉「お散歩ついでに、図書館に寄ってみませんか？」図書館はいつでも、あなたをお待ちしています。

(調査相談専門員 板垣 典子)

第60回 北日本図書館大会山形大会 第29回 山形県図書館研究大会開催

平成21年6月11日(木)から12日(金)にかけて、遊学館において平成21年度第60回北日本図書館大会山形大会並びに第29回山形県図書館研究大会が開催され、北日本各道県並びに県内の公共図書館等の関係者約240名が参加しました。

今回は「明日の読書と地域を支える図書館へ」～踏み出そう本の森へ、漕ぎ出そう情報の海へ～をテーマに開催されました。最初に北日本図書館連盟功労者表彰と山形県図書館事業功労者表彰が行われました。



その後、「公共図書館経営の戦略と評価のあり方」と題して、静岡県静岡市立御幸町図書館長の豊田高広氏に基調講演をしていただきました。タイトルの「公共図書館経営の戦略と評価のあり方」ではちょっと堅苦しいからと「図書館員一人一人が、図書館の経営者になる」とのサブタイトルをつけ、分かりやすい言葉で、かつ仔細にわたっての講演内容でした。



また、第1分科会では「学校教育と社会教育の連携による子どもの読書活動の推進」のテーマで、下記の3名の方より事例発表をしていただきました。

- ①「『県民の読書推進計画』における県立図書館の役割」
秋田県立図書館 成田亮子氏
- ②「学校における読書活動・学習活動を支援する公共図書館を目指して」
福島県本宮市立しらさわ夢図書館
石川志津子氏
- ③「図書館発信！家庭での読書環境づくり提案」
山形県寒河江市立白岩小学校 古城寿子氏

第2分科会では「図書館経営計画と評価と住民参加」のテーマで、下記の3名の方より事例発表をしていただきました。

- ①「未来をひらく県立図書館事業と評価の実施について」
青森県立図書館 渡部泰雄氏
- ②「次世代につながる図書館づくりを目指して

～郷土を愛し市民とともに～

山形県新庄市市民ネットワーク図書館サポート

・とらいあ 高橋一枝氏

③「市民意識の高まりと公共サービス提供主体の多様化について」

山形県新庄市総務課 伊藤幸枝氏

2日目には全体会「分科会報告と質疑」が、山形県立図書館協議会委員長の舛田忠雄氏司会の下で、参加者との活発な質疑・意見交換を交えて行われました。



最後に日本図書館協会常務理事の松岡要氏から情勢報告があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。



※ なお、内容について詳しくお知りになりたい方は、第60回北日本図書館大会山形大会並びに第29回山形県図書館研究大会の記録集を山形県内公共図書館（室）等でご覧ください。

子どもの読書活動推進「絵本の本棚」

「絵本の本棚」は、子どもたちに絵本の読み聞かせをしている方々（お家の方、読み聞かせボランティアの方、園や学校の先生方など）に向けて、絵本選びの参考として活用していただくために作成しているテーマ別リストです。当館の児童向け展示のテーマに合わせてリストを作成しており、対象者は幼児から小学生を目安としています。

リストは当館の2階児童書コーナー及び県内公共図書館（室）で配布しております。

今後も、子どもたちに楽しい本の世界が届けられるよう「絵本の本棚」を作成し、当館のホームページでも公開していますのでどうぞご利用ください。

みなさんからのご意見もお待ちしております。

- No.1 (2009. 2) [かがくの本]
- No.2 (2009. 4) [大型絵本]
- No.3 (2009. 6) [乗り物の本]
- No.4 (2009. 9) [かいじゅう、おばけの絵本]
- No.5 (2009.11) [おいしい秋]
- No.6 (2009.12) [クリスマス]
- No.7 (2010. 2) [むかしばなしの絵本]



中学生が図書館の仕事を体験

平成21年5月から7月にかけて、山形一中、山形三中、山形五中の2年生、計8名（男子6名・女子2名）が県立図書館に職場体験実習に来てくれました。その体験内容をご紹介します。

1日目

まずは館内見学。図書館の本がNDC（日本十進分類法）順に並んでいることを実感してもらいます。普段は入ることのできない地下書庫も見学し、大量の本に一同あぜん。

カウンターではレファレンスを初体験。幼い頃読んで書名を忘れてしまった本を質問し、思い出の本と感動の再会を果たした人もいました。

その後は寄贈資料の受入作業を行い、緊張の第1日目は終了。

2日目

インターネットで予約の入った本を開架・閉架から探し出し、県内の図書館に発送する作業。箱詰めした本を運ぶ力仕事もしてくれて、頼もしい限り。

本の修理も体験。背表紙が破れた本などを糊付けし、裏打ち。糊が乾くのを待つ間、お茶を飲みながらしばし休憩。部活を頑張っていることや、志望校目指して塾に通っている話などをしてくれました。

3日目

開架の本をNDC順に並べる配架点検。元気な中学生には地味でつらい仕事ですが、これをしな



本の発送作業。パソコン操作は得意です。

ければ利用者が読みたい本を探すことはできません。

最後の仕事は展示準備。「イマドキ中学生のおススメ本」と題し、今まで自分が読んで面白かったと思う本を展示することにしました。OPACを使った検索はお手のもの。「今、はまっています」「10年たっても忘れない」など中学生らしいキャッチコピーも考えて、ライブ感いっぱい展示コーナーができました。

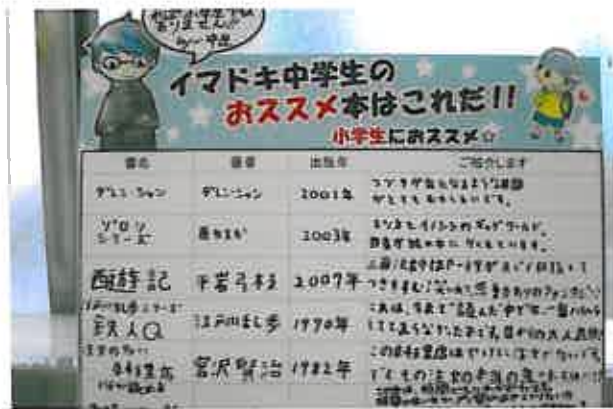
図書館の職員にきちんとお礼の挨拶をして、3日間の職場体験は終了です。

後日、中学生の皆さんから立派なお礼状をいただきました。今度は是非、県立図書館に本を借りに来てくださいね。

(管理主査 柴崎 恭子)



「イマドキ中学生のおススメ本」の展示。多くの本が借りられていきました。



地域文庫紹介

「おひさま文庫」

山形市二口橋近くのときめき通りから東にちょっと入ったところに《おひさま文庫》の看板を掲げた小さな建物があります。車だったら通り過ぎてしまうかもしれない。歩いて目も凝らして見なければ気づかないかもしれない。でもそこに行くと小さくてもあったかい空間を共有することができます。



中に入ると文庫を主宰している海和さんが長い間に集めた絵本や紙芝居が沢山あります。平成3年開庫当初の1200冊から今では2000冊になっています。どの本も1冊1冊子どもが読む顔を思い浮かべながら選んだ本。どれにも思い出がいっぱい詰まっています。

天井には子どもたちと一緒に作ったすごろく、壁には手づくりの人形達も飾ってあります。ペープサートや人形劇もあります。おひさま文庫は絵本の好きな子を歓迎します。そして絵本の嫌いな子も大歓迎。文庫に通ううちに絵本の大好きな子に変身してしまうそうです。

海和さんは元幼稚園の先生。子ども時代から本が大好きでした。先生になってから読書指導につ

いて学び家庭文庫開設はその頃からの夢だったそうです。そしておひさま文庫の子どもたちを題材に童話も創作しています。平成16年には「おひさまっこ」で、やまがた児童文学賞を受賞されています。山形の同人雑誌「もんぺの子」に掲載された作品もあります。一度読んでみませんか。そして是非おひさま文庫のドアをノックしてみましょう。



おひさま文庫

(主宰 海和 三枝子さん)

〒990-0067 山形市花楸1-5-28

☎023-632-6240



お知らせ

平成22年度山形県図書館協会主催事業（予定）

子どもの読書活動推進事業『ブックトーク研修会』

対象 公立図書館（室）職員 子ども向け読み聞かせ団体等の会員
学校図書館関係者及び学校教員 ブックトークに関心のある方

第1回 内容「ブックトークとは、ブックトークの必要性、ミニブックトーク」

講師 読書活動研究家 蔵元和子氏

寒河江会場

とき 7月22日（木）午後1時30分～午後4時30分

ところ 寒河江市立図書館

新庄会場

とき 7月23日（金）午後1時30分～午後4時30分

ところ 新庄市民プラザ

第2回 内容「学校でのブックトーク、子ども同士のブックトーク」

講師 読書活動研究家 蔵元和子氏

寒河江会場

とき 11月18日（木）午後1時30分～午後3時30分

ところ 寒河江市立図書館

新庄会場

とき 11月19日（金）午後1時30分～午後3時30分

ところ 新庄市民プラザ

交通案内(山形県立図書館へのアクセス)

バス：山形駅前から

- ・「沼の辺行き」乗車。
遊学館前下車、すぐ。
- ・「市役所前経由路線」乗車。
市役所前下車、徒歩約6分。

タクシー：山形駅前から約10分。

- 車の方：・県営駐車場をご利用ください。
- ・図書館をご利用の方は最長2時間まで無料です。
 - ・おいでの際とお帰りの際の2回、1階正面玄関左側の遊学館総合受付に駐車券をお出しください。



■山形県立図書館のご案内

〒990-0041 山形市緑町1-2-36

TEL 023-631-2523 / FAX 023-625-6520

ホームページ <http://www.lib.pref.yamagata.jp/>

開館時間 9:00～19:00

休館日 月曜日、毎月の第3日曜日、年末年始、特別整理期間